

設 立 趣 旨 書

1. 設立趣旨

近年の少子化、高齢化、核家族化などによる世帯構成の変化、インターネットの普及などにより、社会は個人化が進み、世代間の交流を含め、地域における人と人のつながりがますます希薄化しています。私たちは、これまでに数多くのつながりの場の企画運営に携わり、子どもから高齢者まで幅広い世代の人々の暮らしに触れる中で、つながりの場の必要性を強く感じてきました。

また他方では、近い将来の労働人口の減少が懸念され、女性のさらなる社会進出が望まれる一方で、さまざまな場で培った経験や潜在的な能力を備えていても、現在の社会の仕組みの中では年齢や性別などの見えない壁に阻まれ、それを生かす場を得、自立につながられる場がまだまだ少ないという現状があります。これまで私たちは、さまざまなつながりの場づくりに携わった経験を生かして、子育てサロンの運営を行う一方、パソコン技術などの能力を生かし、団体の機関誌や情報紙など、組織と会員をつなぐ各種広報のありかたに考慮した紙面制作の支援等の活動を行ってきました。今後も地域の人々へのインターネット指導等の情報化支援を通して暮らしの広がりや応援するなど、さまざまなことができると考えます。

私たちは、これまでの実績を基にした「仕事おこし」を起点として、温かいつながりの場づくりを積極的に広げ、人々が明るく穏やかに暮らせる地域社会づくりを目指すとともに、さまざまな潜在的能力を持つ人々に、その能力を生かせる場を開拓し提供することで、活気ある人づくりと経済的にも自立した自己の実現を促すとともに、その事業を通して地域の人々の暮らしやさまざまな団体、個人の活動の活性化に貢献していきたいと考えています。

現在行っている活動の継続と今後さらなる活動を広げていくには法人格を必要とするため、特定非営利活動法人ウィズを設立することとしました。

2. 申請に至るまでの経過

- | | | |
|-------|--------|--|
| 2006年 | 8月 | とちぎコープ生活協同組合の理事を任期満了で退任した有志が、そこで培った経験や能力を以て社会に貢献したいという意志を確認しあい、何ができるか検討を開始しました。そこには、年齢や性別などさまざまな条件に左右されることなく、個人の能力が評価され生かされる場が社会にはまだまだ少ないという、理想にはほど遠い現実への実感がありました。 |
| 2006年 | 9月 | とちぎコープ生活協同組合において、これまで培った能力や技術を糧に、受け取る側の立場に立った広報の制作支援等で仕事興しをするとともに、特定非営利活動法人設立の検討を開始しました。 |
| 2007年 | 8月 | 理事の任期中から組合員さんの声によってその必要性を感じていた子育て支援について、「子育てサロン」の運営での仕事興しと、その受託事業化に向けて具体的な検討を開始しました。 |
| 2007年 | 9月・10月 | コープ栃木店（栃木市）子育てサロン「ぷくぷく」、コープ越戸店（宇都宮市）に子育てサロン「とんとん」を開設。週に一回運営し、現在までに全体の延べ人数（2008年9月28日～2008年4月20日まで）で、保護者1129名、乳幼児1275名の利用を得ています。 |
| 2008年 | 3月 | 現在行っている活動の継続と今後活動をさらに広げていく目的で特定非営利活動法人設立に向けて準備を開始しました。 |
| 2008年 | 4月 | 設立総会において特定非営利活動法人ウィズの設立を確認しました。 |

平成20年4月20日

栃木県宇都宮市富士見が丘2丁目17番9号

設立代表者

池田 静枝

